

レポート・論文作成をする際の資料探しのヒント

資料探しの“キーワード”を見つけましょう

◎物事を探すためのキーワードがなければ検索できません。

↓

資料探しをするためには、レポートを作成する分野についてのある程度の知識が必要です。

・講義内容を復習してみましょう。

・事典やその分野の入門書にあたり、知識を得ましょう。

(参考文献を活用すると、関連度の高い文献を見つけることができます)→芋づる式検索法

◎図書館の蔵書検索もキーワードがないと文献を探すのが難しいが、…

“ブラウジング” (実際に書架で本を見ていく) をしてみるのも大事

・図書館の資料は同じテーマの本がまとまって置かれているので、探しているテーマに近い本を見つけたら、そのまわりの本も見えてみると、より多くの資料を見つけることができます。

・目次や索引、「はじめに」などに目を通すと、効率よく情報を探し出すことができます。

信頼できる情報・資料を使うようにしましょう

◎「写す」のではなく「引用」を

・引用した文章の出典(情報の出所)をきちんと示しましょう。

◎「信頼できる情報」とは？

・インターネットの情報は誰が書いているかわからないものが多く、客観的な信頼性に欠けます。

引用は政府関係のサイトなど、一部の信頼できるサイトを除いて避けたほうがよいでしょう。

・書籍、新聞、雑誌などは執筆者が明記されており、入念な編集を経ているため、信頼性が高いといえます。

インターネット上で信頼できる情報を収集するには

◎政府機関の Web サイトを調べるようにしましょう

・ドメインを活用して検索すると効率がよい。(政府機関 .go.jp 地方公共団体 .lg.jp)

例: 国際経済に関する政策や統計を調べたい 国際経済.go.jp 国際経済.lg.jp と入力。

◎PDF ファイルの資料を探してみましょう

・インターネット上で公開されている公的な文書や、雑誌論文はほとんどが PDF ファイル形式です。→信頼性が比較的高いといえます。

例: 国際経済 filetype:pdf

※すべてが信頼できるものとは限らないので「誰によって」、「いつ作られたものなのか」を確認しましょう。

参考文献一覧を忘れずに

・参考にした資料は、書名、著者名、出版社、出版年などをメモしておきましょう。

資料探しにデータベースやリンク集を活用してみましょう



データベース

本学ではメディアセンターHPの「オンラインデータベース」からログインして、各種データベースが利用できます。以下で紹介するデータベースは、すべて学内のみで利用可能です。終了時に必ずログアウトをしてください。

【図書】 NICHIGAI BOOK PLUS (アクセス制限あり)

1926年から現在までに出版された本の情報が検索できます。

1986年以降の本は、要旨・目次情報もわかるようになっています。

【雑誌記事】

➤ NICHIGAI MAGAZINE PLUS (アクセス制限あり)

一般誌から専門誌・大学紀要などの、海外誌紙まで収録した日本最大規模の雑誌記事データベース。雑誌記事・論文情報などが検索できます。

最新データが毎週更新されます。

各種学会の年報や研究報告論文も検索できます。

➤ 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 (アクセス制限あり)

一般誌が中心となります。文献複写の依頼も可能ですが1枚あたりの単価が高いです。

【新聞記事】

➤ 読売新聞「ヨミダス歴史館」(アクセス制限なし)

1874年の創刊から最新号(前日付)までの読売新聞記事が検索できます。

1989年9月からの「The Japan News」(英字紙)・「現代人名録」も検索可能。

➤ 朝日新聞「聞蔵(きくぞう)Ⅱ ビジュアル・フォーライブラリー」(アクセス制限あり)

1985年から本日朝刊までの朝日新聞記事までが検索できます。

「週刊朝日」、「AERA」も収録、「朝日新聞歴史写真アーカイブ」も検索可能。

➤ 日経新聞「日経テレコン21」(一部アクセス制限あり)

日経4紙の記事、企業情報、人事情報などが検索できます。

※要ID・パスワードの日経テレコン21は記事の範囲、財務情報など検索できる内容が多いのが特長。

【電子ジャーナル】

➤ 日経BP記事検索 (アクセス制限なし)

日経BP社発行の雑誌記事の検索・閲覧ができます。

論文・レポートを書くテクニックや注意点なども掲載されているので便利です。

その他にも

官報情報検索、TKCローライブラリーなどがあり、判例の検索なども可能です。
詳しくはHPを見てください。